

# 100均グッズでステレオ画像の立体視ができる

須藤 弘善



写真1 VRグラス VRG-X01BK



写真2 ハコスコ タタミ2眼



写真3 VR MINI 折り畳み式 VRメガネ

## ● 始まりは編集部で購入したVRゴーグル

第2部で紹介する各種画像処理を施した図2を見るために、スマホと組み合わせて使うVRゴーグルを購入しました。

### ● VRグラス VRG-X01BK (エレコム, 写真1)

対象サイズは4~6.5インチです。目幅調整、ピント調整が可能で、メガネにも対応しています。画像処理の効果を細部まで確認するならこれです。欠点はスマホにタッチできないので、次の画像を見るときは都度、ふたを開けることになります。Amazonで1650円でした。

### ● ハコスコ タタミ2眼 (ハコスコ, 写真2)

対応サイズは160×80×10mmまでです。没入感があり、よく見えます。スマホ操作の穴が開いており、画像をめくれます。Amazonで850円でした。

### ● Lion VR Mini (aeroTAP, 写真3)

対応サイズは3.5~6インチ、視野角は60~80°です。外光が入るので囲いを自分で作るとよいかもありません。Amazonで790円でした。

### ● 3D VR CLASSES (OUYOU, 写真3と同種)

対応サイズは4~6.5インチです。5名中2名が立体視できませんでした。Amazonで345円でした。

### ● 3D VRメガネ (クリエーション, 写真3と同種)

対応サイズは4~6インチです。立体視できます。キャンドゥで110円でした。ただし、販売している店舗は少ないです。(ここまで編集部)

VRゴーグルやVRメガネなど、3D立体視そのものを目的とした商品もありますが、100円ショップで購入できる虫めがねや老眼鏡など身近なもので3D画像を立体視できるかどうか試してみました。左右レンズの間に仕切り板(段ボールなど)を入れた方が見やすいかもしれません(写真4)。

## ● 拡大鏡 2P

大小のルーペが1個ずつ入っています。

購入先: ダイソー, セリア

大: 倍率約2倍, 直径65mm

小: 倍率約3倍, 直径50mm

2セット購入し、同じサイズの品を両目に当てます。大はスマホから11cmほど離れたところで立体視できました。小に比べるとレンズのひずみが目立たず快適に見えます。小はスマホから7cm離れたところで立体視できました。両者とも視野が広く、スマホの周辺も見えてしまいます。

## ● 薄型ポケット・サイズ拡大鏡

購入先: ミーツ, レモン

倍率約3倍

折りたたみタイプです。スマホから8cm程離れたところで立体視できました。多少、色のにじみやひずみもあるものの快適です。

## ● ポータブル・ルーペ

購入先: セリア

倍率約4倍

こちらも折りたたんで収納できるタイプです。倍率は約4倍でスマホ画面から6cmほど離れたところで立体視できました。視野がスマホの画面に収まり没入感を強く感じられました。

## ● 老眼鏡

購入先: ダイソー

高度数の+3.5, +4.0, +4.5, +5.0を試しました。スマホから12cmほど離れたところで立体視できました。度数が高いほど像も大きく見え、左右の像を1つに重ねやすく立体視しやすい印象です。3Dアイヤマ